



千住 荒川堤踏切を走るD51形蒸気機関車

写真にみる 50年前の日本

よみがえる昭和の情景

平成23年

平成24年

11/12 土 1/22 日

好評につき期間延長

会場：昭和館2階ひろば

開館時間：10:00～17:30（入館は17:00まで）

休館日：毎週月曜日 12/28～1/4



昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575
ホームページ <http://www.showakan.go.jp>

- 交通のご案内 **電車ご利用の場合** 地下鉄九段下駅から徒歩1分（東西線・半蔵門線・都営新宿線 4番出口）
JR飯田橋駅から徒歩約10分
- 車をご利用の場合** 首都高速西神田ランプから約1分（九段下交差点）
普通乗用車専用駐車場がご利用になります。
- 有料駐車場（30分200円）

今から50年前の昭和36年の日本は、戦後復興から高度経済成長へと大きく変貌していく時期でした。昭和の古い光景と新しい時代の到来を思わせる二つの情景を見ることができる時代でした。

写真展ではこうした希望に満ちた50年前の「昭和」をご覧ください。



新幹線試験車両

入場
無料



荒川土手で列車を眺める子ども



千住 五丁目付近の土手より南にみた風景



大阪新世界の飲食店「つばらや」



マツダR360クーペ



御茶ノ水を走る丸ノ内線と総武線



池袋駅 東口周辺



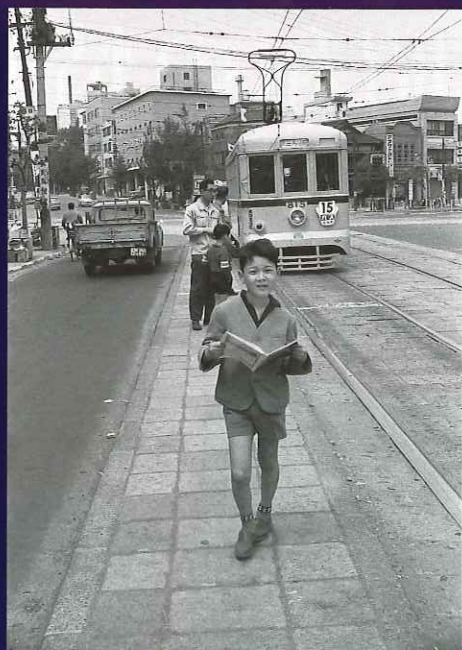
特急「こだま」



ビュッフェ車

写真にみる 50年前の日本

よみがえる昭和の情景



神田小川町 路面電車と本を読む少年

太田
峻
三

今回の写真展で展示した写真の撮影者 おおたしんぞう 太田峻三さんは、大正11 (1922)年の生まれです。当時の日本は、東京オリンピック開催の準備に追われている最中で、そうした中で、関東大震災や空襲の被害を受けずに残っていた由緒ある建物などが取り壊されていく状況を目の当たりにしたそうです。太田さんはこの情景を何とか後世に残したいと考え、休日に各所を歩き回り撮影を続けました。

また、医薬品関係の営業業務に従事していたこともあって、全国中を回っていました。その際に訪ねた名所や旧跡、駅舎や乗り物などを撮り続けました。今回の写真展では、昭和36・37年に撮影された275枚の中から厳選した41枚を展示しています。

(昭和館5階 映像・音響室では275枚全てと昭和38年撮影分の写真が閲覧できますので、どうぞご利用ください。)